



8月号

平成7年8月1日

発行/編集

岡崎市教育委員会

くわがたを見せてくれたあの子
 今年も 八ツ木の奥に入って
 くわがた捕りに
 奮戦しているのかな

読書の好きなあの子
 アイス片手に
 外国の長編小説に
 熱中しているのかな

「ぼんつくに行こう」
 よくせがんできたあの子
 真福寺川で
 見かけることができるかしら

あの子のいない教室
 あの子のいない運動場
 気がつくこと
 あの子のことを考えている
 — 夏休み

〈夏のひとりごと〉



(とべとべボール—岩津小)

数年前のある日、突然外務省より電話がありました。話の内容は、ギリシャの柔道ナショナルチームヘッドコーチとして出張してもらえるかどうかを問うものでした。とりあえず、大学より一年間の公務出張の許可を得、一家を引き連れてアテネに赴いたわけです。

私が招聘されたのは、一九九六年



開催の百周年オリンピックに関係がありました。創設百年祭の記念大会をアテネに招致するために、各種スポーツの強化が必要であったのです。ギリシャ人に柔道を指導するためには、ギリシャ人の国民性について知らなければなりません。とはいっても、任地へ到着早々の私にはそこまでの余裕ありませんし、日本柔

道を教授するのですから、「相手はこちらの姿勢に合わせてくれれば良いのだ」と、強気で指導を始めました。

赴任して約二か月後、バルカン国際大会が開催されることになりました。この大会に出場する選手を、過去のデータや、稽古を通して感じる強さから選出したのですが、この選

—教育随想—

古代文明発祥の地 ギリシャに暮らして



学長
愛知教育大学
附属岡崎小学校

米田 吉孝

出方法が問題で、大変な事態を招きました。選ばれなかった人たちが、朝夕自宅まで詰めかけてきたのです。ギリシャ語で「私」のことを「エゴ」といい、英語の「エゴイズム」の語源といわれています。私の第一印象では、自己主張が強く、我々の価値観による尺度では計り切れない感じがしました。

ギリシャから海外へ遠征した時、アテネに残っているメンバーに不在中の練習計画を与えても、継続は困難でした。その主な理由は、個々が一番であり、他の者に従いたくないというのです。日本人が大切にしているチームとしての「協力・団結」という概念は、あまり得意でないように思われました。

これらのギリシャでの経験を通して感じることは、最近の教育の場面においても、あるいは、一般社会においても、個性や個人を大切にすることを考え方が社会の主流を占めるようになりました。しかし、ここでの個性や個人は、日本人としての「協力・団結」を得意とする背景に立脚した個性や個人であって、前述したそれとは異なっており、前記したそれ

最近、若者のなかに、自分の権利のみを主張するような個人主義が多くなったことが気にかかります。集団のなかでも協力ができ、しかも、集団の内外を問わず、個人の力を十分に発揮できるような人間形成が、二十一世紀にむかって必要であるように思われます。

(よねだ よしたか)



材料や表現方法を 子供が選択する授業

図工・美術科指導員

香村 敏之

六年生に「心のとびらを開いて」という題材がある。心の扉を何かにたとえて、それを開けると、他の人が予想もしないようなものや場面が現れる作品を製作する内容である。この授業では、子供たちが、思いがけないほどの様々な材料や方法を使い、「心のとびら」の表現に取り組んでいる。

一人の女の子が紙の上に小石を丸く並べ、その中に木工用接着剤を流し込んでいます。話を聞くと、中に赤い紙で作った金魚が入れてあり、接着剤が乾くと透明になり、池で金魚が泳いでいるように見えるというのである。一人の男の子は、緑色のクレヨンで薄く色を塗った紙の上に、青色の絵の具で色を何度もつけてい

ふるさとシリーズ

この人に聞く



点訳奉仕

深田 きくよ 氏

岡崎市に「点訳木曜会」というボランティアグループがある。その会長の深田さんの自宅を訪れて、お話を伺う機会を得た。

「この会は、木曜日に点訳の活動をするから、こういう名前がつけました。著名な文学作品には点訳されたものは多いのですが、それ以外のものは意外と少ないんです。盲人の方の、これが読みたいという生の声を聞き、要望に答えよう」と活動しています。新聞のコラムとか、雑誌の記事とか、点訳する内容も幅広いですよ。」

毎週木曜日に、市立図書館の一室を借りての活動である。昭和五十四年にできたそうであるから、ずいぶん長い間活動を続けている。深田さんが点字に出会ったのは、さらにそれから四年前である。

「本当になにげなく出会ったのです。ふと立ち寄った盲学校で、点字に出会いました。点訳をすることで、自分自身も読書できる。それぐらの気持ちで始めたのですが、これがやりだすとおもしろいのです。点訳された用紙が積み重なっていくのを見るのが楽しくて、夢中になって続けました。学んだことを講習会という形で発表していったのが発展して、この木曜会が生まれたんです。」

現在、会員は五十七名だが、入会希望者も多いそうだ。

「カルチャーセンターのつもりで入会する人も少なくありません。しかし、点訳とは、読み手を考えてするものです。盲人の方とお話ができるなければ、続けることはできませんね。私は最初、読み手をあまり意識していませんでしたが、盲人の方と多くふれ合い、また喜んでもらうことで、点訳したいという気持ちがわいてきたんです。」

ボランティア活動が最近特に見直され、注目もあびている。深田さんの話を聞いて、ボランティア活動の原点を教えていただいた気がした。自らも楽しみながら取り組んでいる姿は聞いていてもすがすがしかった。

深田さんに今後の活動のことを聞いてみた。すぐさま返ってきた答えは、

「どんどん点訳したいです。」

だった。読み手に対するまっすぐな愛がそこにあった。

氏名 深田 きくよ

生年月日 昭和二十七年十一月五日

住所 藤川町比丘尼山二十八番地



る。稚拙ではあるが、深い海の感じを表現したいというのである。

材料や方法を子供たちが選択するような授業の中には、こんな宝物のような表現がたくさんあるはずである。その子供一人一人のよさに気づき、それを温かく見守ることのできる教師、そして、材料をもとにした造形遊びなどで培った造形活動に対する関心・意欲や材料体験を基盤としたこうした授業が、もつともっと増えてくれることを願っている。

【推薦する専門書】

『絵で見る子どもの生活』教育出版
『美術教育を学ぶ人のために』

世界思想社



時代の変化とともに、我々の食卓は大きく変化した。それは、市場の変化と密接な関係を持つている。

市場には、道路交通網と交通用具の発達により、全国から新鮮な食料品が大量に入荷するようになった。それに伴い、十五年前には岡崎に五か所あった青果市場は、手狭になったことを主な理由に統廃合され、今では二か所になった。

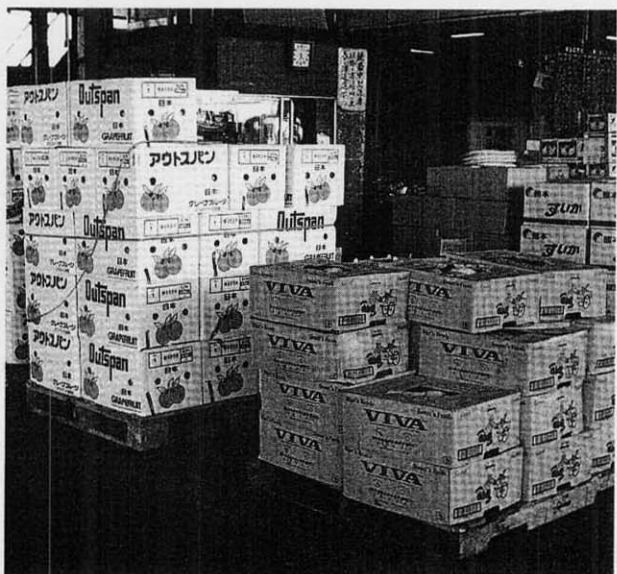
青果市場では、県外からの入荷が増えている。野菜類に対して、果物類の比率も高くなっている。時期を逸した商品の入荷に、市場の季節感がなくなりつつある。また、海外からの果物の増加も目を引く。しかし、



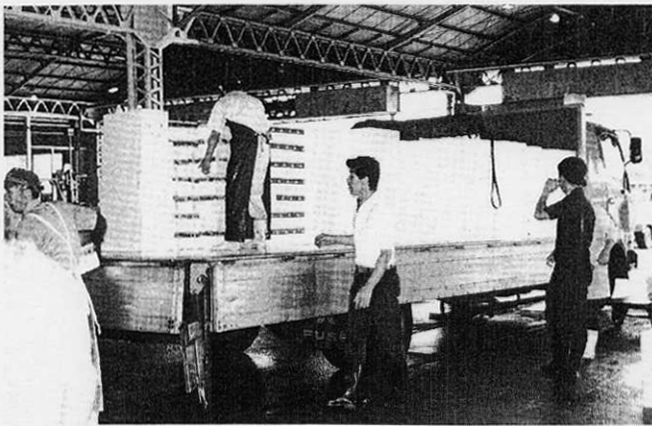
▲広い駐車場を持つ大きな青果市場



▲野菜を並べる近郷の農家の人



▲輸入くだもの



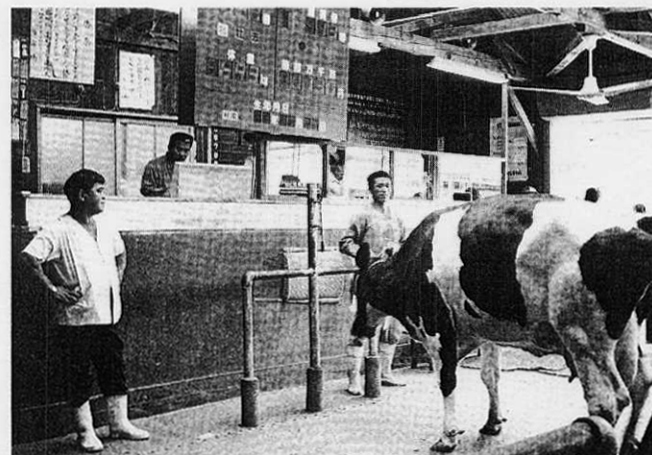
▲大型トラックを使った一般大衆魚の入荷



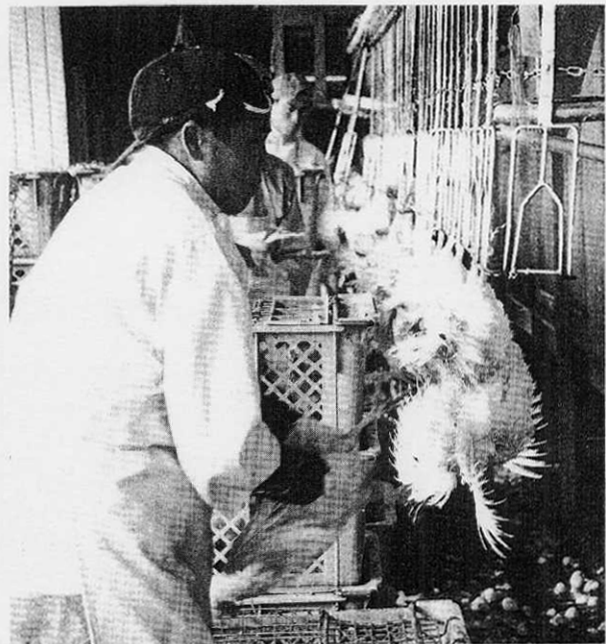
▲いけすに入れての活魚の入荷



▲近海産の魚類（箱は木箱から発泡スチロールへ）



▲電光掲示板を使った牛の競り風景



▲鶏肉の生産

バブルの時期に好調であった高級果物は、最近低調である。

魚市場では、大型トラックによるアジ・サバなどの大衆魚の入荷が増加し、人気がある。また、いけすを使った活魚の入荷も増えている。

肉類は、外国との競争が激しく、日本の良さを出すことに懸命である。

一方、未だに変わらないものもある。競りによる価格の決定、近郷の野菜、近海の魚の流入である。大都市の市場にはない良さとして、大切にしていきたいという。この岡崎の市場の良さが、食卓の良さとして残っていつてくれればと願っている。



▲変わらない競り風景



あかりがつく
おもちゃをつくろう

三島小学校

森下 浩子

けい光灯のスイッチを切った瞬間、

「わあっ、きれい。」

子供たちの声がわき上がる。

真っ暗になった理科室に、無

数の豆電球の明かりが浮かび

上がり、柔らかい光を放って

いる。私も、思わず目を見張

っていた。

おもちゃ作りを始めて間も

ない頃、

「先生、ソケットがなくても

豆電球つけれるよ。」

T男が、電池と豆電球を見せ

に来た。大げさなくらいに、

「へえ、知らなかった。T男

の大発見だね。」

と驚いてみせると、T男の顔

がぱっと輝いた。

数日後、自分が乗れるUF

Oを作りたいと言っていたT

男は、大きなダンボール箱を家から下げてきた。

「がんばったわね。私も、材料を用意してるよ。」

雨上がり、体の小さなT男が箱をぬらさないように持って

長い坂道を歩いて来た姿と、

数十個の大きなダンボールを

集めて校舎内に運んだ自分の

姿が重なって目に浮かぶ。

完成に近づいた頃、T男が、

「ここに釘を差し込むと少し

暗くて、三段階で明るくな

るように考えた。」

と、三本の電池を直列に並べ

てつなぐ位置を変えるしくみ

のスイッチを見せてくれた。

今、無数の明かりの中に、

T男の思いがいつぱいつまっ

た光が、確かに輝いている。

師弟同行

女性教師の先達

六ツ美中学校

白井 直美

私にとって中学生時代は、

根が水分を吸い上げることく

多くのことを学び、吸収でき

た日々であったような気がし

ます。そこには、先生方の労

苦を惜しまぬ熱心な指導が

ありました。城北中学校から

数年、着々と多岐にわたる成

果を上げられている頃でした。

家庭科で浴衣を制作した時

のこと。反物に鉄を入れるの

を躊躇していた私に、笑って

ゴーサインを出して下さいま

した。今でもその「大作」は

大切にしまっておりま。澄

んだよく通る声で時に厳しく、

時に温かく接して下さいる先生

に、絶対的な信頼と尊敬と憧



れの念を抱いておりました。

その後、優れた指導の手腕

を発揮され、岡崎市初の女性

校長になられました。先生の

存在は、私たち女性教員にと

って希望の光でありました。

母として教員として、先生

と同じ道を歩んでいる私にと

って、先生の歩んでこられた

道のりは余りにも尊く、まね

のできないものです。しかし、

教師の本質を示して下さい、

生きる指針を与えて下さった

先生に一步でも近づけるよう

精進していくつもりです。

教師冥利

元秦梨小学校長

浅井 千代子

城北中学校時代がなかった

ら、今の私はなかったと常々

思っています。鈴木校長先生

の御指導の下での様々な体験は、学ぶ事の多い日々でした。

辞令を受けた日は、校舎建設の杭打ちの音が、校庭に高らかに響いていました。とにかくすべてが一からの出発でしたから、校長先生を中心に全職員が新しい学校づくりに燃えていました。

名札や制服、掃除など日常生活のことから授業やテスト、そして遠足や修学旅行、耐寒マラソン等の行事に到るまで、一つ一つ新しいアイディアを出し合い、納得のいくまで議論が重ねられました。私は目から鱗の落ちる思いでした。

そうした空気は生徒にも伝わり学校全体が活気に満ちていましたから、今もって卒業生達は懐かしそうに当時の思い出を語ってくれます。

直美さんもそうした一人で、

中学生時代は笑顔の爽やかな体中からやる気の溢れた、典型的な城北っ子でした。私は、

あなたのような教え子が後輩としていてくれて嬉しいと同時に、教師冥利につきると思

っています。



◆環境月間県民の集い

六月五日、愛知県中小企業センターにおいて開催された県民の集いにおいて、次のみなさんが表彰されました。

・環境保全活動功労者

城北中学校

・環境保全ポスター入賞者

二席 竜海中 三年 犬塚 亜代

三席 竜海中 三年 柴田美沙子

竜海中 三年 古家茂枝子

◆平成七年度緑化推進・動物愛護児童生徒作品展

・描画・ポスターの部

市長賞

梅園小 二年 森 潤也

矢東小 五年 平岩 輝

葵中 二年 清水 愛

第39回岡崎市中学校総合体育大会
水泳競技の記録 ★新記録

性	種目	氏名	校名	記録
男	50m自由形	高杉 渉	矢作北	27" 9
	100m自由形	戸塚 淳哉	甲山	1' 01" 2
	200m自由形	菅 隼歩	美川	2' 24" 8
	100m平泳	大村 之博	竜海	1' 13" 9
	100m背泳	島田 隼一	矢作	★1' 05" 7
	100mバタフライ	宮腰 穂高	南	★1' 03" 8
	200m個人メドレー	新井 裕吾	葵	2' 32" 5
子	400mリレー	高島田・尾崎坂 高島田・長坂坂	矢作	4' 11" 8
	400mメドレーリレー	高島田・長崎 高島田・高崎	矢作	4' 31" 3
男子総合 1 矢作 2 竜海 3 矢作北				
女	50m自由形	上田 美見	矢作	29" 9
	100m自由形	岩下 ひろみ	城北	1' 05" 4
	200m自由形	渡邊 利佳	甲山	2' 26" 7
	100m平泳	関 千春	新香川	1' 23" 1
	100m背泳	志賀 理恵	美川	★1' 13" 9
	100mバタフライ	石川 清佳	矢作北	★1' 09" 7
	200m個人メドレー	関谷 清佳	城北	2' 37" 8
子	400mリレー	近藤・糟谷 喜多・渡邊	甲山	4' 35" 1
	400mメドレーリレー	喜多・野村 喜渡・近藤	甲山	5' 07" 3
女子総合 1 甲山 2 矢作 3 竜海				

・習字の部

市長賞 竜谷小 三年 倉橋 亜弓

竜美丘小 四年 川端 美帆

岩津中 一年 吉本 有里

福岡中 三年 太田 聖子

◆第十二回NHK杯全国中学校放送コンテスト県大会

・アナウンス部門

最優秀 葵中三年 岩本 結衣

優良 城北中三年 松岡 美沙

入選 常磐中三年 杉浦ひかり

朗読部門

優良 城北中三年 佐野このみ

入選 城北中三年 平山 和佳

・ラジオ番組部門

優良賞 小学校の部 広幡小学校

・テレビ番組部門

最優秀 常磐中学校

優良 常磐中学校

矢作中学校

◆第十七回愛知県中学生相撲大会

・団体の部

優勝 東海中学校

・個人の部

優勝 東海中三年 片桐 裕策

二位 東海中二年 井上 俊男

三位 六北中二年 上口 義雄

◆平成六年度小・中学校理科実践論文コンクール

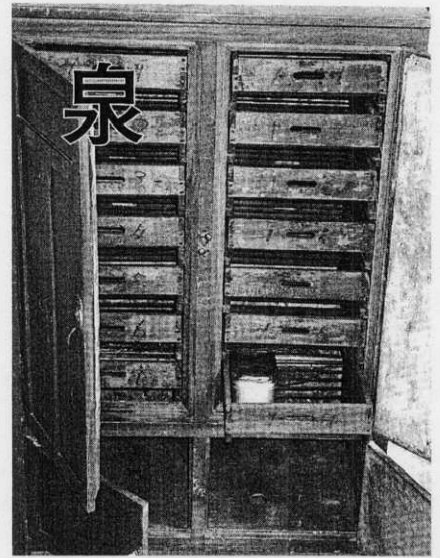
優良賞 広幡小学校

●平成7年度夏期実技講習会

教科・領域	期日	会場	人数
国語(書写)	8. 2	細川学区市民ホーム	50
社会	8. 2	碧南石炭火力発電所他	50
算数・数学	8. 1	六ツ美市民センター	60
理科	8. 1	緑丘小学校・緑丘学区市民ホーム	55
生活科	8. 1	竜美丘学区市民ホーム	60
音楽	7. 21	太陽の城	50
図工・美術	7. 31	おがざき世界子ども美術博物館	40
家庭科(小)	8. 2	細川小学校	35
技術・家庭科(中)	8. 1	美川中学校	50
英語	8. 1	勤労福祉会館	60
特殊教育	8. 2	竜海中学校	40
視聴覚	8.1~2	太陽の城	40
特活(野外活動)	7.27~29	岡崎市少年自然の家	60
情報教育	8.1~2	六ツ美中学校	40
学校図書館教育	8. 1	愛知県青年の家	80
学校保健	8. 1	中央総合公園第1会議室	50

1階にある「健康センター」は、放課になると体力測定などをする子供たちでにぎわっています。





美川中蔵

弁当の保温器

昭和三十三年、岡崎市内の全小学校が、完全給食となった。中学校では、昭和四十六

年の岡崎市学校給食センター（現北部学校給食センター）の開設にともない完全給食となった。

それ以前は、一部の学校で給食を実施していたが、給食調理室のない学校では弁当に頼らざるを得なかったのである。その頃は、現在のように全教室にストーブがあるわけでもなく、冬ともなれば手足が凍えてしまったうえ、せっかく母親が心を込めて作った

弁当も冷えきったものを食べなければならなかった。そうした児童生徒に、少しでも温かいものを食べさせた

いたの配慮から利用されていたのが、この「弁当の保温器」であった。

しかし、下から練炭などで温めるため、上段に置かれた弁当はなかなか温まらない反面、下は黒くこげてしまったこともあった。また、たくあんなどの漬物が入っていると、全部の弁当に異様な臭いが染みつくという問題もあったようである。

・表紙写真
・表紙詩
・カット

岩津小
岩津小
常磐中

飯尾ときる
小栗幸子
深津勝巳

この本を

- *日本の森と海に未来はあるか 河川 俊彦
講談社 ￥1900
- *大衆教育社会のゆくえ 荻谷 剛彦
中央公論社 ￥720
- *日本の名随筆別巻25「学校」 森 毅
作品社 ￥1800
- *白磁の人 江宮 隆之
河出書房新社 ￥1600

*蓮 如 五木 寛之
中央公論社 ￥1500

著者初めての戯曲。若き蓮如の姿を高貴な人物としてでなく、また、飾られた人としてでもなく、人間蓮如を描いているところに趣を感じる。

メイトルリンク「青い鳥」の原作もまた、戯曲であったことを思い合わせ、末永く生き続ける作品であってほしいと願う。

戯曲という省略と抽出の手法により、浮き彫りにされる蓮如の半生は、中世の混乱の中で心の再生を願った苦悩と祈りの日々であり、葛藤の生活であった。

温度計が気になる季節。昨年は猛暑と水不足で悩まされた。今年はどうだろうか。水量は十分だが、気温が気になる。夏は暑く、冬は寒いという当たり前の事が大切である。健康で安全な夏休みも当たり前の事であり、全教職員の強い願いでもある。

静けさの中で、町も人もまだ目覚めていない夜明け前。ここだけがもう始まっている。

威勢のよいかげ声。品物に対する厳しい目。生鮮食料品に生きる人々の心意気が、この一点に凝縮されている気さえずる。そんな市場の朝の風景である。



温められた弁当を食べながら友と語った昼食のひととき。煮付けられたはんぺんや竹輪を弁当箱の蓋で隠しながらも、保温器の温かさより母の愛情で心から温まっていた時代。その陰で、弁当を作ってもらえずに、そっと教室を抜け出す子がいたことを思い出す。

水面下の努力のたとえで、よく白鳥が例にあげられるが、点訳という作業はまさしく水面下のものである。目立たないし、一字一字点訳する労力は計り知れない。肩ひじ張らず、自らも楽しみながら続けているからこそ、深田さんの点訳奉仕は続くのであろう。